

第26回関東甲信越地区学会アンケート結果

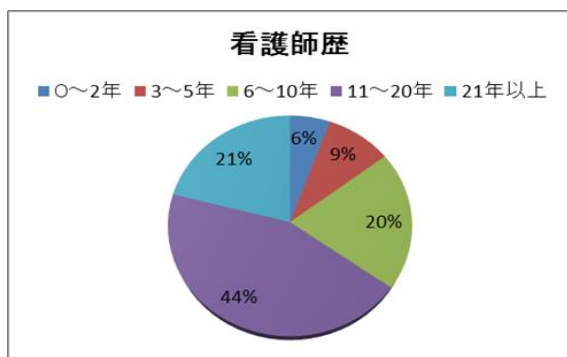
日時:平成27年6月20日(土)

場所:横浜パシフィコ アネックスホール

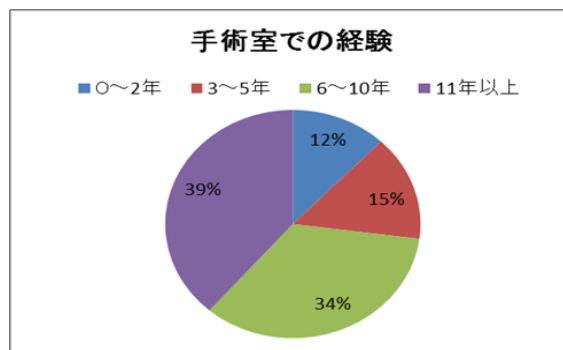
参加人数:1,182名(会員704名、非会員474名、学生4名)

アンケート回収:362枚 回収率:30.62%

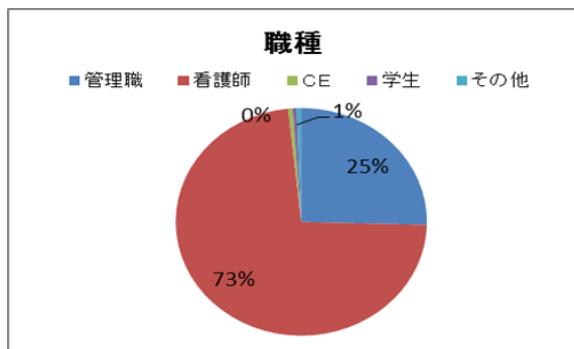
I-1. あなたの看護師歴は？



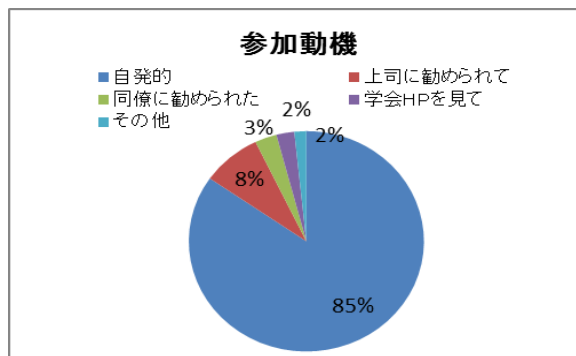
II-2. あなたの手術室での経験は？



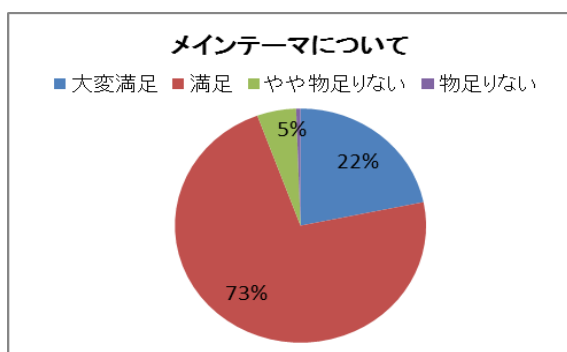
I-3. あなたの職種は？



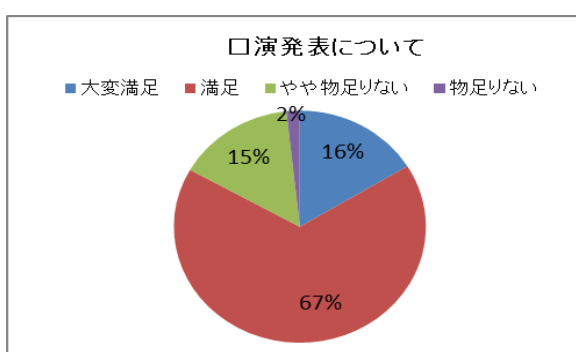
I-4. 今学会の参加動機は？



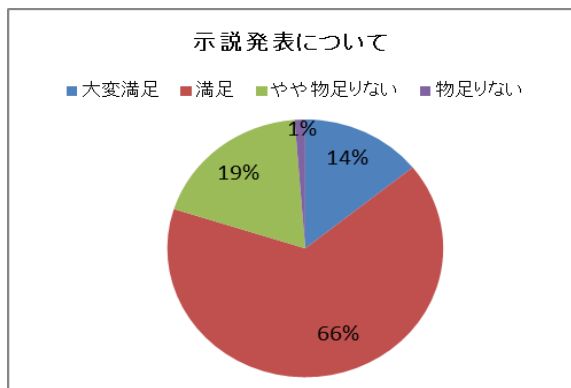
II-1. メインテーマについて



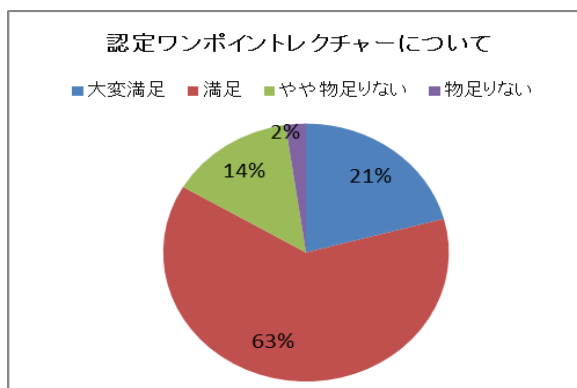
II-2. 口演発表について



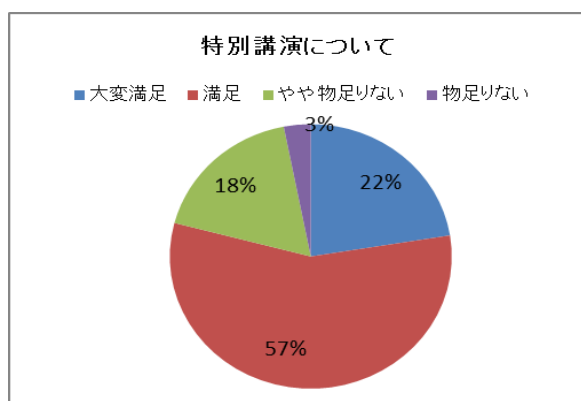
II-3. 示説発表について



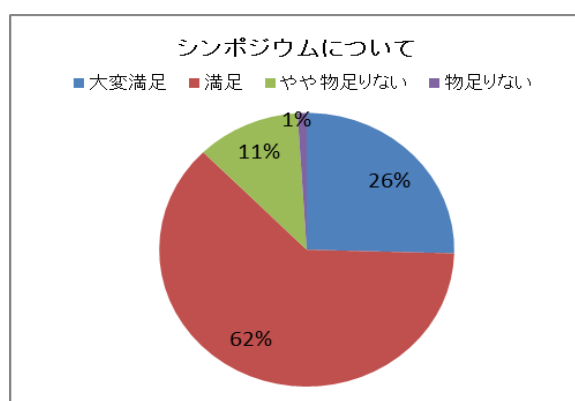
II-4. 認定看護師ワンポイントレクチャー



II-5. 特別講演について



II-6. シンポジウムについて



III. その他

1. 学会に参加して得られたことは何ですか？

- ・自分たちと同じように術前外来の過圧胴を行っている話を聞くことができ参考になった。
- ・チーム医療の大切さを学んだ。
- ・術前外来における看護師の気づきの必要性
- ・ラテックスアレルギー、感染対策について理解が深められた。
- ・手術全のガイダンスの必要性について
- ・術前外来についてとても興味深かった。
- ・周術期の看護について
- ・チームいりようの大切さ。今後研究を行う予定なので情報収集ができた。
- ・体位固定や表皮剥離など、興味があることについて知識が深まった。
- ・チームとして患者へ関わる大切さを再確認できた。他職種への呼びかけを行う必要性を感じた。
- ・他職種との連携の重要性
- ・術前訪問と術後評価の必要性
- ・他病院や最近の医療の動向や現状
- ・周術期管理チームを立ち上げようとしているので、基本的な取り組み内容が紹介されて参考になった。
- ・周術期看護として術前外来を看護師も行うことで、とても有用な情報を得られ、業務の効率化にもつながっていくということ。
- ・新たな念低精度を設けたことによる研究・報告があり、とても勉強になった。
- ・災害時のNS. の役割、シミュレーションの情報
- ・疼痛への関わりとして「ガイダンス」の有用性について知れた。
- ・ラテックス対応患者への看護とスキンケアの意識

- ・手術室としての機能のあり方、手術室看護師としての患者との関わり方
- ・借用機会の写真作成によるカウムの工夫や災害時のシミュレーションを机上でもシナリオを何度も行うなど参考にしたいと思った。

2. 関東甲信越地区手術看護学会にどのような企画(テーマ・講演・展示・表彰)を希望しますか

- ・手術室看護師におけるリーダーシップについて
- ・認定などエキスパートが担う役割について
- ・新人教育・新人の事故対策
- ・新人既卒者を含めた教育方法・術中看護記録
- ・他職種の方とのシンポジウムを望む。テーマはチーム医療で引き続きお願いしたい。
- ・事故防止 安全
- ・術前外来
- ・術前術後看護
- ・手術看護認定看護師の活動
- ・周術期管理ナースの役割や仕事について
- ・手術室看護の教育について 手術室クリニカルリーダーの活用について
- ・手術看護における倫理
- ・インシデント報告に基いて具体的な技術、演習等があるとよい。
- ・特殊な体位固定の工夫
- ・災害看護
- ・体温管理
- ・器械出し看護の有効的な器械台の配置
- ・手術マニュアルの作成、後進についてどうしているか
- ・防災に関して、大災害より、時間が経過することで忘れられていくため、時間が経ってどう変化したのかを知りたい。
- ・術前外来
- ・災害、スキントラブル、サージカルスモーク
- ・麻酔管理について、術中体位について
- ・術前訪問パンフレットや実際の内容、患者の思い
- ・手術看護記録、カウムの安全の取り組み
- ・災害時における手術室看護師の指導、対応、避難の仕方
- ・周術期管理チーム関連、麻酔関連
- ・フィジカルアセスメント

3. 認定看護師ワンポイントレクチャーに取り上げてほしいテーマはありますか

- ・体温管理
- ・麻酔看護
- ・術中体位による皮膚トラブル予防法
- ・体圧測定・高かった部位への効果的な除圧
- ・体圧分散 体位固定 保護材 皮膚障害防止 神経損傷防止
- ・脊椎手術時の4点支持器部の皮膚トラブルについての最新の傾向
- ・ハグユーバックの体位固定方法や保温・加温について
- ・DVTと男性ストッキング、フットポンプの関係(必要性)
- ・看護診断と術中看護記録
- ・アレルギー対策
- ・新人教育
- ・病棟ナースとの連携
- ・他部署、職種との協働連携の実際、工夫
- ・手術室内感染管理や安全管理、教育に関すること。
- ・看護倫理 ナラティブ
- ・周術期看護

- ・チーム医療
- ・アセスメントのスキルアップ
- ・SSIの取り組み
- ・SRASの取り組み
- ・今さら聞けないORNs. のエビデンス
- ・手術看護のためのフィジカルアセスメント
- ・高齢者手術患者の手術前～後の関わり方(認知症を含む)
- ・急変時の対応について
- ・OR看護師の役割
- ・個人のスキルアップ(認定になるまで)
- ・認定看護師は、こんなところがやりがいがあって楽しい等
- ・手術を受ける患者の精神的支援の具体的方法
- ・術中訪問時の家族へにICの内容、タイミング、記録の記載
- ・鏡視下手術の件数増加があるので、特殊体位の工夫